

日ユ協連の第26回 評議員会(2012年1月14日開催)報告

<趣旨>

日ユ協連の第26回 評議員会(2012年1月14日開催)に九州ブロック選出青年評議員として出席した評議員会について、個人の責任の下報告を行う。

<評議員会概要>

内容重複の為、別途手島議員の報告文書を参照願う

<http://www.youth-unesco.net/data/assembly/120114/report001.pdf>

<発言報告>

質疑応答の際、挙手の上以下の発言を行った。

- 1: 事業改善3ヵ年計画において、赤字問題解決のために事業の見直しを行うことは必要なことと思われるが、見直しを行い事業の削減等を行っていく中で、改善効果の評価体制についてはどのように考えているのか?
- 2: 現状、日本ユネスコ協会連盟主催事業は147あると報告があったが、それら全てについて等しく見直しを行った上での削減や改善するべきであり、そこに至るまでの経緯や改善理由を明確にした文書を公表していただきたい
- 3: 赤字改善の為の負債事業削減を明示した発言が多く見受けられるが、改善していく上で、次の世代が何を目的として活動を行っていくかを念頭に置くべきであり、資金面の問題だけで削減を断行するようなことはないようお願いしたい

<個人的感想・意見>

- ・事業改善については、今回もっと具体的な話が出るかと踏んでいたが、「事業改善検討やります」と言った感じの告知の場でしかないように感じた
- ・今回の流れは「きちんとした手順を踏んだ上の事業削除」という大義名分を得る為とも捉えることが出来るので、会長の発言にもあるように意見があればどんどん発信していき、今実際に第一線で活動を行う現場がどのような事業、どのような方針を求めているか伝えていく必要がある
- ・青年評議員が現状9ブロック中4名であり、これからの会議の重要性を考えるとやはりもったいないと感じる
青年は交通費も保証されているので、来期以降可能な限りの増加を願いたい

以上

文責: 大分県ユネスコ協会連盟 佐藤隆士
(九州ブロック選出評議員)